

岐阜県博物館 平成29年度特別展「壬申の乱の時代—美濃国・飛騨国の誕生に迫る」木簡実物展示時期

※展示時期は変更することもあります。  
木簡の実物展示は、資料保存のため、下記展示時期内の内で2週間程度となっています。

実物展示あり	出土遺跡	木簡略称 ※正式なものではありません。	一口メモ	展示時期
	石神遺跡	「乙丑年ム下評」木簡	乙丑年(天智天皇4年:665)に三野国ム下評(後の美濃国武義郡)から都に送られた荷札木簡。国郡里制につながる国-評-五十戸の三段階の地方制度を記した最古の木簡。	レプリカのみ 期間中全期
○	飛鳥池遺跡	「湯沐」木簡	尾張国の陽(湯)沐からの調に付けられた荷札木簡。大海人皇子にも「安八磨郡湯沐」から送られた物品にこんな札が付けられていたのだろうか。	10月中旬 レプリカは期間中全期
○	飛鳥池遺跡	「丁丑年加尔評」木簡	丁丑年(天武天皇6年:677)の三野国加尔評(後の美濃国可児郡)から都に送られた桑の荷札木簡。	10月中旬 レプリカは期間中全期
○	飛鳥池遺跡	「丁丑年刀支評」木簡	丁丑年(天武天皇6年:677)の三野国刀支評(後の美濃国土岐郡)から都に送られた桑の荷札木簡。「恵奈五十戸」とみえ、この時点で恵那評はなく、刀支評の一部であったことが明らかになった。	10月中旬 レプリカは期間中全期
	飛鳥池遺跡	「天皇」木簡	「天皇」の文字が記された最古の木簡。この天皇は天武天皇を指すか。	レプリカのみ 期間中全期
○	藤原宮跡	「己亥年各牟評」木簡	己亥年(文武天皇3年:699)の三野国各牟評から都に送られた荷札木簡。	開催日から10月初め レプリカは期間中全期
○	藤原宮跡	「癸未年大野評」木簡	癸未年(天武天皇12年:683)の三野大野評(後の美濃国大野郡)から都に送られた白米の荷札木簡。	11月初めから会期末まで
○	平城宮跡	「牟儀猪養」木簡	衛士府が衛士の牟儀猪養を召し出す際に使った木簡。牟儀猪養は身毛君広の血縁者かも。国重要文化財。	※展示期間未定
○	平城宮跡	「麦門冬」木簡	美濃国から都に送られた「麦門冬」に付けられた荷札木簡。	10月下旬から11月初め
○	平城宮跡	「片県郡」木簡	美濃国片県郡から都に送られた庸米に付けられた荷札木簡	11月初めから会期末まで
○	平城宮跡	「養老五年」木簡	養老5年(721)に美濃国から都に送られた庸米の荷札木簡。養老年間の美濃人が記した「養老」の文字。	11月初めから会期末まで
○	平城京・長屋王邸	「煮租年魚」木簡	霊亀二年(716)に美濃国から都に送られた「煮塩年魚」に付けられた荷札木簡。ただし断片。	開催日から10月初め
○	平城京・長屋王邸	「煮塩年魚」木簡	霊亀二年(716)に美濃国から都に送られた「煮塩年魚」に付けられた荷札木簡。	9月末から10月中頃
	平城京・長屋王邸	「氷高親王宮」木簡	備後国鞆田郡から都に送られた荷札木簡。養老改元を行う元正天皇の即位前の名前「氷高親王」が記されている。	レプリカのみ 期間中全期
○	伊場遺跡	「美濃関」木簡	関を越える際に必要な「過所」の木簡。「美濃関」は不破関のこと。静岡県指定文化財。	開催日から10月初め レプリカは期間中全期
○	伊場遺跡	「辛巳年」木簡	辛巳年(天武天皇10年:681)の出挙に関わる木簡。静岡県指定文化財	9月末から10月中頃 レプリカは期間中全期
○	伊場遺跡	郡符木簡	遠江国敷智郡司が所管の竹田郷長里正あてに出した郡符木簡で内容は召文である。静岡県指定文化財。	10月下旬から11月初め レプリカは期間中全期
○	伊場遺跡	「己亥年」木簡	己亥年(文武天皇3年:699)の「過所」風の内容が記された木簡。静岡県指定文化財。	9月末から10月中頃 レプリカは期間中全期
○	伊場遺跡	百怪呪符	呪いに用いた呪符木簡で冒頭に「百怪呪符」と記されている。静岡県指定文化財。	11月初めから会期末まで レプリカは期間中全期
○	弥勒寺西遺跡	郡符木簡	武義郡司が人を召し出すために使ったもので郡符木簡という。関市指定重要文化財。	10月下旬から11月初め レプリカは期間中全期
○	杉崎廃寺跡	郡符木簡	飛騨国荒城郡司が所管する飽海郷の誰かにあてて出した郡符木簡。	9月下旬から10月上旬 レプリカは期間中全期